

グ・サーベイ) であり、日本においては 2016 年に新しく男子のプロリーグ「B リーグ」が誕生しました。当社グループは B リーグについて、スポーツ産業の中でも成長期を迎えている領域であると評価しています。

さいたまブロンコスとは、プロバスケットボールリーグ創設前の 1982 年に創設し、長い歴史を持った地域社会に根ざしたバスケットボールチームです。日本唯一の男子バスケットボールのプロリーグ「B リーグ」の 3 部リーグに所属し、黒字経営を行っている健全な経営体制を有しております。

特筆すべきは行政との連携によるチーム運営であり、B リーグ全体を見渡しても類を見ない環境を構築してまいりました。埼玉県内の多くの市町にて連携協定を締結するなど地域に密着しており、今後はその取り組みを一層拡充する方針です。その中でスポンサー収入、チケット収入、物販収入等の売上の飛躍的な伸びが期待できるとともに、公共施設の指定管理業務を受託することにより地域創生の事業展開が可能となります。

また、教育委員会や小学校との連携によるスポーツ文化の醸成、中学部活動改革、ギガスクール構想事業など教育への取り組み、アスリートのセカンドキャリアなど社会課題への取り組みと、当社グループとのシナジーを大いに推進できるものと考えております。

特にスポーツストーリーズにおけるスクール事業は、当事業が有するリソースにより、さいたまブロンコススクール事業の拡充を推進させ、当事業においても教育や普及を目的としたバスケットボールスクールやチアダンススクールの開設など、バリエーション豊富なスクールを埼玉県下に展開出来ることや、運動教育に活用して展開しているバルシューレの普及活動を促進させるなど、双方にとって大きなスケールメリットを生めると確信しています。そして、今後注力すべき事業の一つである中学部活動の改革においては、教員の働き方を改善するための社会課題を解決する事業でもあり、さいたまブロンコスとスポーツストーリーズのシナジーは社会に大きな影響を及ぼすと考えております。

そして、当社グループがさいたまブロンコスの株式を保有する大きな意義として、プロスポーツのチーム育成、戦術策定に DX を適用してまいります。当社グループの IT リソースを活用し、データによる選手獲得やデータ分析による戦略・戦術など、当社グループのリソースにより、勝利する事、昇格する事のみならず、当社グループの存在が、さいたまブロンコスの存在を高められるよう取り組んでまいります。

上記を踏まえた本件実施により期待される事業シナジーは以下の通りです。

- ① スポーツビジネス DX への挑戦：当社グループのシステム開発力、データ分析力を活用したデータに基づく選手獲得、育成、戦略、戦術の深耕と実践
- ② プロスポーツチーム保有効果
 - (ア) スポーツストーリーズのスクール事業における会員集客力の向上
 - (イ) スポーツストーリーズのバルシューレ事業における会員集客力の向上
 - (ウ) スポーツストーリーズのユースチーム事業の立ち上げ
 - (エ) スポーツストーリーズのチアダンススクール事業の立ち上げ
 - (オ) スポーツストーリーズの優秀人材採用力の向上

- (カ) スポーツストーリーズ役職員のキャリアパス形成に貢献
 - (キ) さいたまブロンコス選手のセカンドキャリア形成に貢献
 - (ク) 当社グループ認知度向上によるグループ人材採用力に向上
 - (ケ) ファンクラブビジネスの立ち上げ（会員管理システム、スポーツカード、クラブトークン、NFT の取り組み）
- ③ 地方自治体連携に強いさいたまブロンコス保有効果
- (ア) スポーツストーリーズとさいたまブロンコスによる部活動改革の推進力向上
 - (イ) スポーツストーリーズのスクール事業拡大をドライブできる連携協定による体育館、アリーナの使用機会獲得
 - (ウ) 当社グループによる行政 DX への参入機会の獲得

2. 異動する子会社の概要

(1) 名称	株式会社ブロンコス 20
(2) 所在地	〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤五丁目 1 番 20 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 福田 剛紀
(4) 事業内容	プロバスケットボールチーム「さいたまブロンコス」の運営
(5) 資本金	95 百万円
(6) 設立年月日	1996 年 7 月 26 日

以上